

静岡県月例経済報告

(平成29年4月号)

……平成29年2月を中心とした県内経済のすがた……

No. 492

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・ 需要面	4
・ 生産面	13
・ 雇用面	15
・ その他	18
III 静岡県主要産業の動向	22
IV データからみた県内主要産業	25

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、平成29年2月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概 況

平成29年2月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつあるが、一部に弱さがみられる。

先行きについては、底堅い設備投資意欲などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産の回復状況と海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、持ち直しに向けた動きがうかがわれる。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、持ち直しつつある。
- ・ 生産は、下げ止まっている。

需 要 面

◎個人消費は、持ち直しに向けた動きがうかがわれる。

大型小売店販売額(2月)は、百貨店が2か月ぶり、スーパーが3か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも、3か月連続で前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(2月)は、コンビニエンスストアが8か月連続で前年実績を上回ったものの、家電大型専門店が4か月連続、ホームセンターが2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総額でも6か月ぶりに前年実績を下回った。ドラッグストアは前年実績と同水準だった。

自動車(新車)新規登録台数(2月)は、軽自動車が5か月連続で前年実績を下回ったものの、乗用車が7か月連続で前年実績を上回ったことから、総数でも4か月連続で前年実績を上回った。

◎住宅建設は、前年を上回った。

貸家が2か月連続、分譲住宅が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、持家が2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

◎公共投資は、前年を上回った。

公共工事請負金額(2月)は、3か月連続で前年実績を上回った。

◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成29年4月3日)の平成29年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加の計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加の計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(2月)は、4か月ぶりに前年実績を下回った。

◎輸出は、持ち直しつつある。

輸入は、前年を下回った。

輸出総額（2月）は、原動機が2か月連続で前年実績を下回ったものの、エアコン、二輪自動車類がいずれも2か月連続、自動車は4か月連続、自動車の部分品が6か月連続、科学光学機器が2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも4か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（2月）は、原動機などで前年実績を上回ったものの、全体では3か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、1,110億円の輸出超過となった。

生産面

◎生産は、下げ止まっている。

鉱工業生産指数（1月）は、はん用・生産用・業務用機械が2か月ぶり、化学が4か月連続、パルプ・紙・紙加工品、食料品・たばこがいずれも5か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械が3か月連続、輸送機械が2か月連続で前年水準を上回ったことから、総合でも5か月ぶりに前年を上回った。また、3か月連続で前月を上回った。

なお、鉱工業在庫指数（1月）は、総合では5か月連続で前年水準を下回った。

雇用面

◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率（2月）は1.42倍で、前月を0.01ポイント下回ったものの、37か月連続で1倍を上回った。また、2か月ぶりに全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員（2月）は、43か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（1月）は、前年を下回った。

その他

◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高（2月）は、前年同月比1.6%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（2月）は、前年同月比2.4%減と前年実績を下回った。

◎企業倒産は、件数、負債総額いずれも前年を上回った。

企業倒産（3月）は、件数は31件で前年同月比24.0%増、負債総額は、同 150.3%増と、いずれも前年実績を上回った。

<<県の取組>>

【 慶應義塾及び理化学研究所との連携協定の締結 】

1 要 旨

先端農業プロジェクトの世界レベルでの展開を目指し、日本トップクラスの学術研究機関である慶應義塾及び理化学研究所と、それぞれ連携・協力の協定を締結しました。併せて、プロジェクトの推進機関となる（一財）アグリオープンイノベーション機構を交えた意見交換会を行いました。



2 概 要

(1) 日 時

平成29年4月18日（火） 都道府県会館（東京都千代田区平河町）

(2) 協定締結者

静岡県知事 川勝平太

学校法人慶應義塾 理事長 清家篤

国立研究開発法人理化学研究所 理事 小安重夫

(3) 意見交換会参加者

静岡県 川勝平太知事 若原幸雄農林水産戦略監

慶應義塾 清家篤理事長 國領二郎常任理事

理化学研究所 緑川克美光量子工学研究領域長 ほか1名

一般財団法人アグリオープンイノベーション機構 岡野光喜代表評議員 藤井明理事長

3 連携の目的

(1) 静岡県と理化学研究所

理化学研究所の光科学技術を利用した関連分野の研究成果に基づき、産業の発展に資するため、社会実装プログラムの創生と実証・実践の場として静岡県を活用

(2) 静岡県と慶應義塾

農業・食料・健康等を総合した科学技術・産業の振興に関する、研究・産業・教育・学術等の各分野における相互の連携・協力と、地域社会の発展・人材育成への寄与

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

2月 = 30,575百万円

*前年同月比： 3.1%減

(県内3百貨店、130スーパー合計)

<概況>

2月の大型小売店販売額は30,575百万円で、前年同月比 3.1%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 3.9%減）が2か月ぶり、スーパー（同 2.9%減）が3か月連続でいずれも前年実績を下回ったことから、総合でも3か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、衣料品（前年同月比 6.9%減）、家庭用品（同 6.7%減）がいずれも3か月連続、身の回り品（同 5.4%減）が3か月ぶり、飲食料品（同 2.2%減）が5か月ぶりに前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は4.7%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
販売額(百万円)	35,711	33,931	31,351	33,979	34,265	42,002	36,340	30,575
前年同月比(%)	0.7	▲2.7	▲3.5	▲1.0	2.5	▲0.9	▲0.3	▲3.1
うち百貨店(%)	1.1	▲4.9	▲5.2	▲2.8	▲0.7	▲0.7	0.1	▲3.9
スーパー(%)	0.5	▲2.3	▲3.1	▲0.5	3.4	▲0.9	▲0.4	▲2.9
(参考1)全国前年同月比(%)	0.6	▲3.6	▲3.2	▲1.0	▲0.3	▲1.3	▲1.1	▲2.7
うち百貨店(%)	▲0.2	▲6.0	▲5.0	▲4.0	▲2.7	▲2.0	▲1.2	▲1.8
スーパー(%)	1.1	▲2.6	▲2.3	0.6	1.1	▲0.9	▲1.1	▲3.1
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	0.9	▲2.9	▲3.2	▲0.9	1.4	▲1.9	▲1.9	▲4.7

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
衣料品	0.9	▲6.3	▲5.4	▲2.1	4.9	▲2.6	▲1.2	▲6.9
うち紳士服・洋品	4.1	▲2.6	▲4.5	0.5	9.9	1.6	2.9	▲7.0
うち婦人・子供服・洋品	0.7	▲7.4	▲5.3	▲2.5	3.0	▲3.9	▲2.5	▲6.8
身の回り品	1.3	▲4.9	▲10.9	▲6.8	▲0.9	0.1	0.2	▲5.4
飲食料品	0.6	▲1.2	▲2.3	0.1	2.8	0.2	0.1	▲2.2
家庭用品	▲2.4	▲6.7	▲6.0	▲6.8	2.8	▲5.0	▲4.3	▲6.7
うち家庭用電気機械器具	▲2.4	▲13.1	▲4.7	9.6	4.5	▲7.4	▲6.0	▲8.6

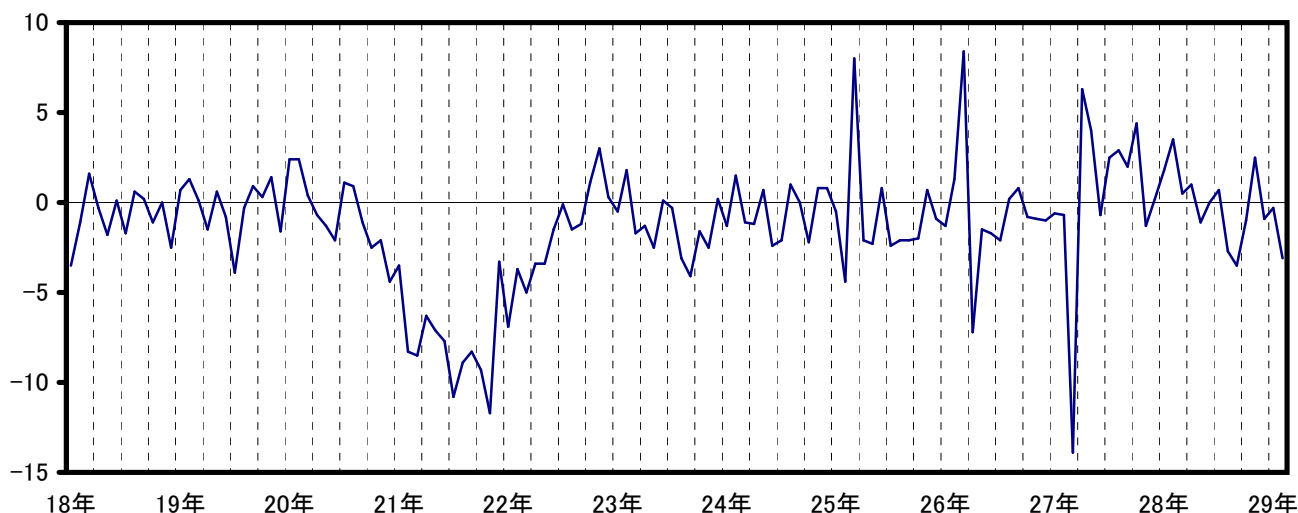
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 百貨店販売額

2月 = 5,327百万円

*前年同月比： 3.8%減

(県内3百貨店販売額)

<概況>

2月の県内3百貨店の販売額は5,327百万円で、前年同月比 3.8%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

品目別にみると、雑貨（前年同月比 2.8%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同 7.3%減）が16か月連続、身の回り品（同 2.1%減）が4か月ぶり、家庭用品（同 7.5%減）が2か月連続、食料品（同 3.0%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
販売額（百万円）	7,052	5,008	5,074	6,194	6,522	8,966	6,985	5,327
前年同月比（%）	1.1	▲ 5.8	▲ 5.3	▲ 2.7	▲ 0.6	▲ 0.7	0.2	▲ 3.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 0.1	▲ 6.0	▲ 5.0	▲ 3.9	▲ 2.4	▲ 1.7	▲ 1.2	▲ 1.7

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

<品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

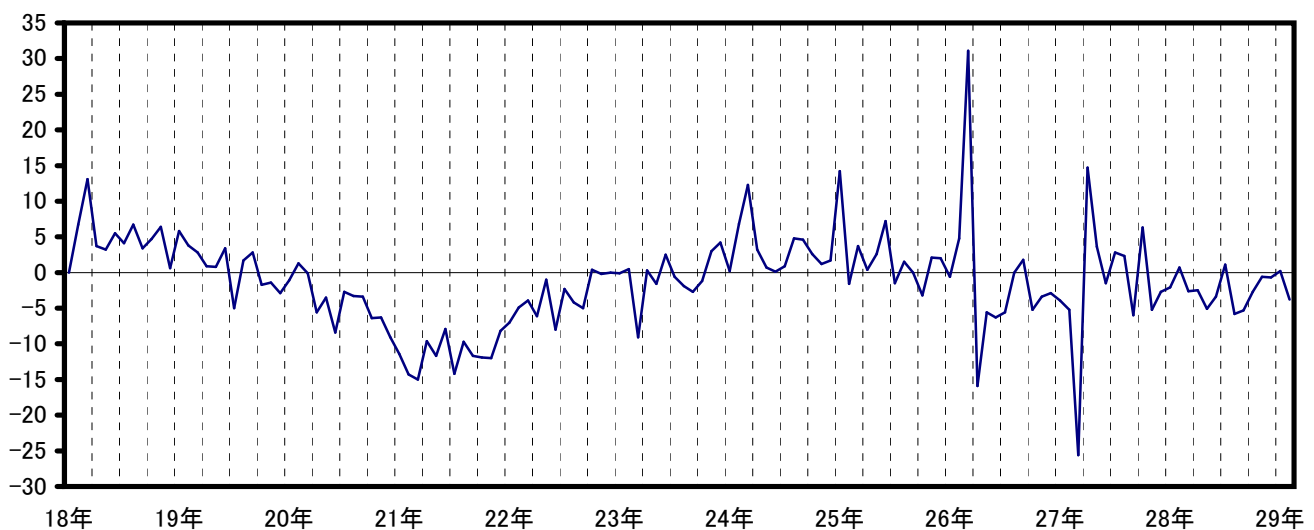
	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
衣料品	▲ 1.6	▲ 12.5	▲ 8.4	▲ 5.2	▲ 2.2	▲ 3.8	▲ 2.5	▲ 7.3
うち紳士服・洋品	▲ 5.7	▲ 23.0	▲ 9.7	▲ 6.3	▲ 4.0	▲ 5.5	▲ 2.4	▲ 5.3
婦人服・洋品	0.3	▲ 10.2	▲ 7.8	▲ 4.3	▲ 1.5	▲ 3.3	▲ 2.0	▲ 8.3
子供服・洋品	▲ 8.2	▲ 15.4	▲ 18.3	▲ 7.1	▲ 4.2	▲ 4.7	▲ 7.3	▲ 3.5
身の回り品	5.4	▲ 4.2	▲ 4.6	▲ 1.8	4.3	5.9	6.3	▲ 2.1
家庭用品	9.3	▲ 1.9	▲ 2.1	▲ 17.1	2.6	0.8	▲ 6.5	▲ 7.5
食料品	▲ 2.1	2.5	▲ 4.9	▲ 1.6	0.5	▲ 0.3	▲ 4.8	▲ 3.0
雑貨	8.4	▲ 4.5	0.3	8.4	▲ 0.7	1.6	13.2	2.8
うち美術・宝飾・貴金属	▲ 11.0	▲ 21.4	▲ 16.0	4.9	▲ 6.9	▲ 18.0	24.1	▲ 9.3

(注)店舗数調整済

<過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比(%)

<資料>県百貨店協会



(3) 専門量販店等販売額

2月 = 57,543百万円

*前年同月比： 0.1%減

(県内92家電大型専門店、1,770コンビニエンスストア、446ドラッグストア、101ホームセンター合計)

<概況>

2月の専門量販店等販売額は57,543百万円で、前年同月比 0.1%減となり、6か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、コンビニエンスストア（前年同月比 0.7%増）が8か月連続で前年実績を上回ったものの、家電大型専門店（同 0.4%減）が4か月連続、ホームセンター（同 2.9%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。ドラッグストアは前年実績と同水準だった。

<最近の動き>

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
販売額（百万円）	72,320	69,029	61,540	64,309	62,796	73,732	63,347	57,543
前年同月比（%）	4.1	▲ 0.4	2.2	2.7	2.4	2.0	2.7	▲ 0.1
うち 家電大型専門店（%）	0.1	▲ 11.7	2.5	4.3	▲ 0.7	▲ 1.9	▲ 2.0	▲ 0.4
コンビニエンスストア（%）	3.8	1.3	3.2	3.7	3.2	3.8	3.5	0.7
ドラッグストア（%）	5.6	3.5	3.1	2.0	2.6	4.6	4.4	0.0
ホームセンター（%）	6.7	▲ 2.5	▲ 3.8	▲ 0.2	1.7	▲ 3.8	2.0	▲ 2.9
(参考) 全国前年同月比（%）	4.1	0.2	2.6	3.6	2.6	2.3	2.7	0.4

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

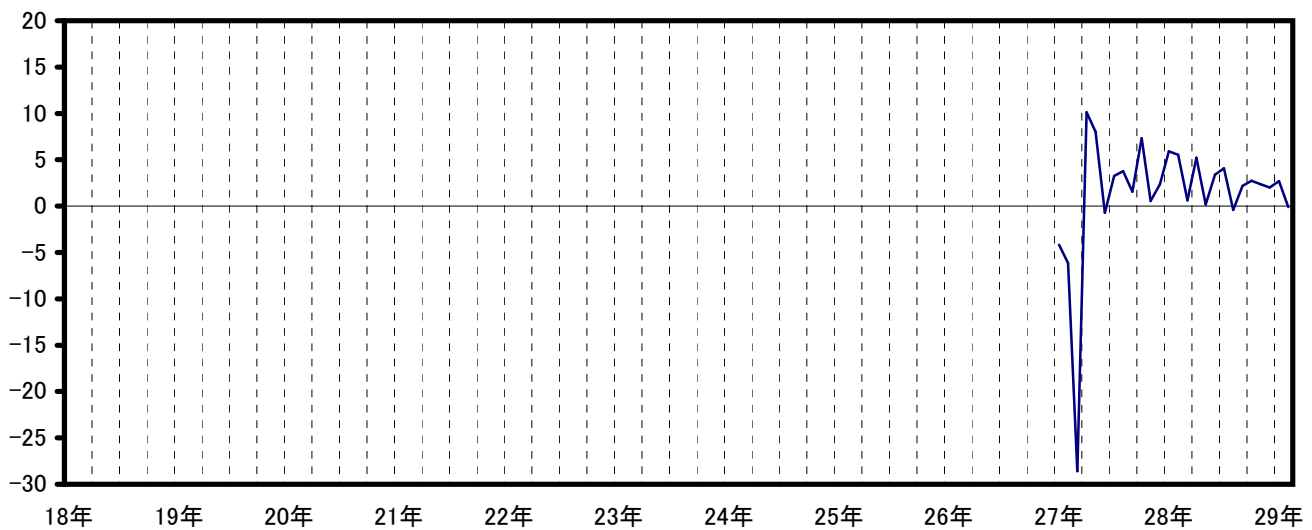
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省



(4) 自動車(新車)新規登録台数

2月 = 17,905台

*前年同月比： 4.0%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

2月の自動車(新車)新規登録台数は17,905台(前年同月比 4.0%増)となり、4か月連続で前年実績を上回った。

車種別にみると、軽自動車(同 3.3%減)が5か月連続で前年実績を下回ったものの、乗用車(同 10.5%増)が7か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
登録台数(台)	13,630	11,137	16,342	12,513	13,638	13,544	14,916	17,905
前年同月比(%)	▲ 4.1	2.3	2.8	▲ 2.8	4.6	2.7	1.1	4.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 2.2	2.9	▲ 0.7	▲ 0.1	8.8	8.1	4.4	8.2

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

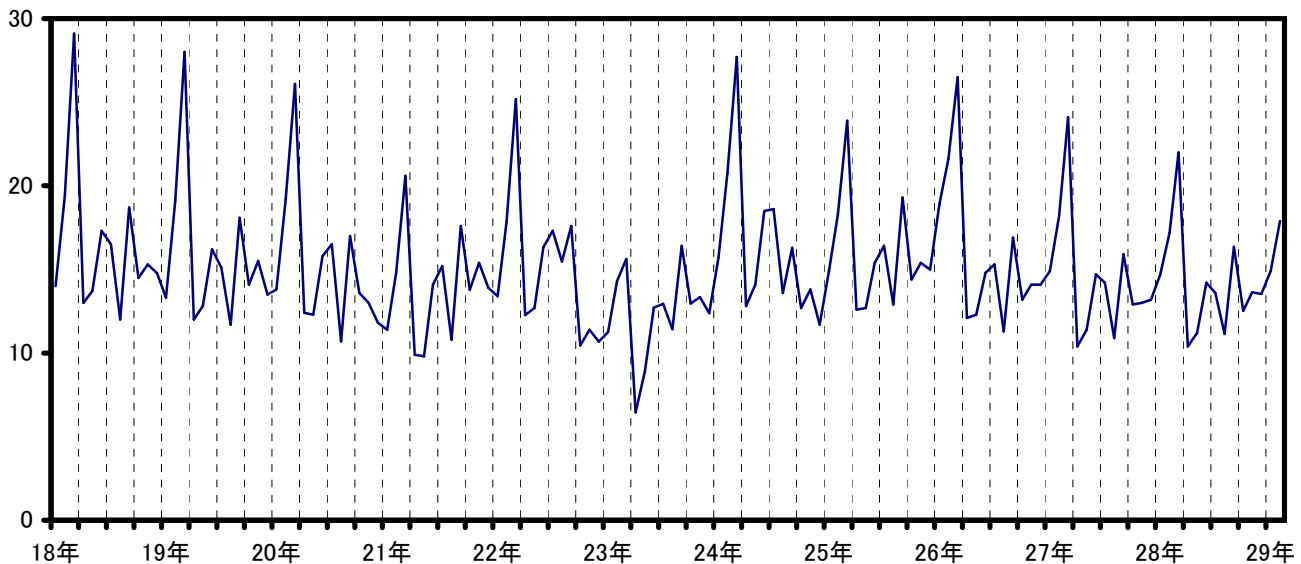
	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
全乗用車	▲ 4.1	2.3	2.8	▲ 2.8	4.6	2.7	1.1	4.0
乗用車	▲ 1.1	3.3	3.8	0.2	11.7	8.7	9.9	10.5
軽自動車	▲ 8.0	1.0	1.7	▲ 6.6	▲ 3.8	▲ 4.8	▲ 9.1	▲ 3.3

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

2 月 = 1,931 戸

*前年同月比： 1.9%増

<概況>

2月の新設住宅着工戸数は1,931戸で、前年同月比 1.9%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

利用関係別にみると、貸家（前年同月比 5.7%減）が2か月連続、分譲住宅（同 38.9%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、持家（同 28.5%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

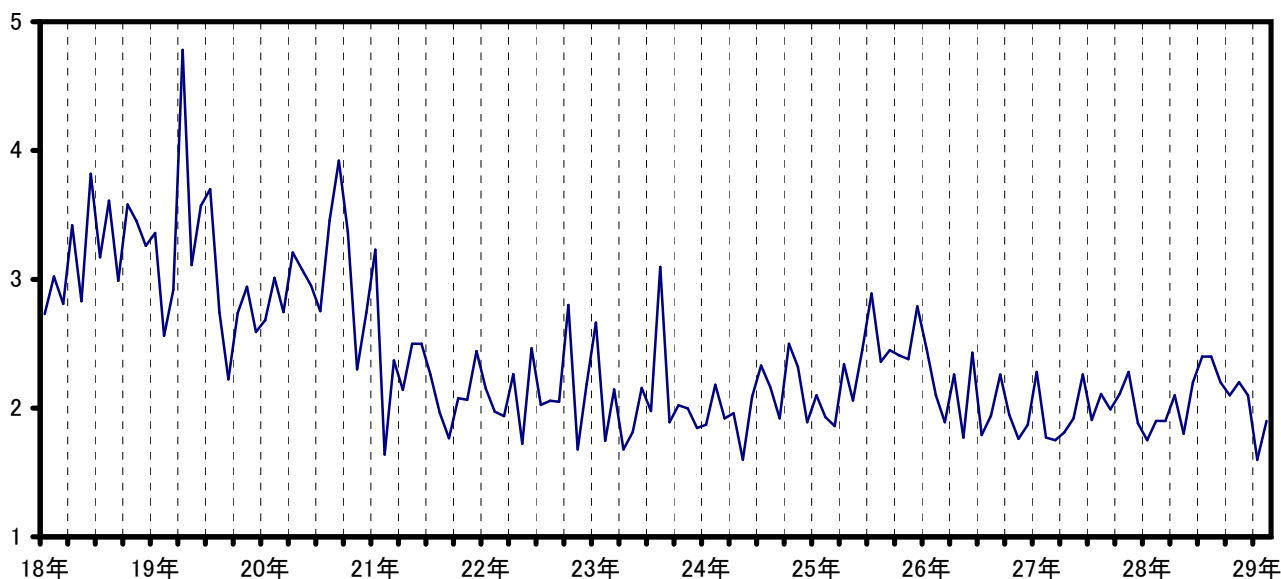
	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
戸数（戸）	2,356	2,405	2,179	2,084	2,213	2,073	1,645	1,931
前年同月比（%）	23.5	14.3	9.7	▲ 1.4	▲ 2.9	10.1	▲ 6.2	1.9
うち持家（%）	13.9	7.4	6.0	▲ 3.9	▲ 14.5	7.3	▲ 2.4	28.5
貸家（%）	28.3	10.9	63.3	▲ 14.4	19.4	28.0	▲ 24.7	▲ 5.7
分譲住宅（%）	53.0	50.4	▲ 43.9	48.3	▲ 3.6	▲ 1.3	32.0	▲ 38.9
(参考)全国前年同月比（%）	8.9	2.5	10.0	13.7	6.7	3.9	12.8	▲ 2.6

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

2月 = 12,463百万円

*前年同月比：91.7%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

2月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は12,463百万円で、前年同月比91.7%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は321件で、前年同月比101.9%増となり、5か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
金額(百万円)	28,013	29,515	50,377	19,292	14,204	16,623	10,454	12,463
前年同月比(%)	▲7.1	14.8	47.9	▲40.0	▲10.0	8.2	16.6	91.7
年度累計前年同月比(%)	2.6	4.8	13.1	4.9	3.9	4.2	4.6	6.8
件数(件)	818	885	1,445	657	657	772	434	321
前年同月比(%)	▲5.1	11.7	27.4	▲30.1	▲11.7	▲4.1	▲1.6	101.9
年度累計前年同月比(%)	1.7	4.3	10.5	3.1	1.2	0.6	0.4	2.7

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

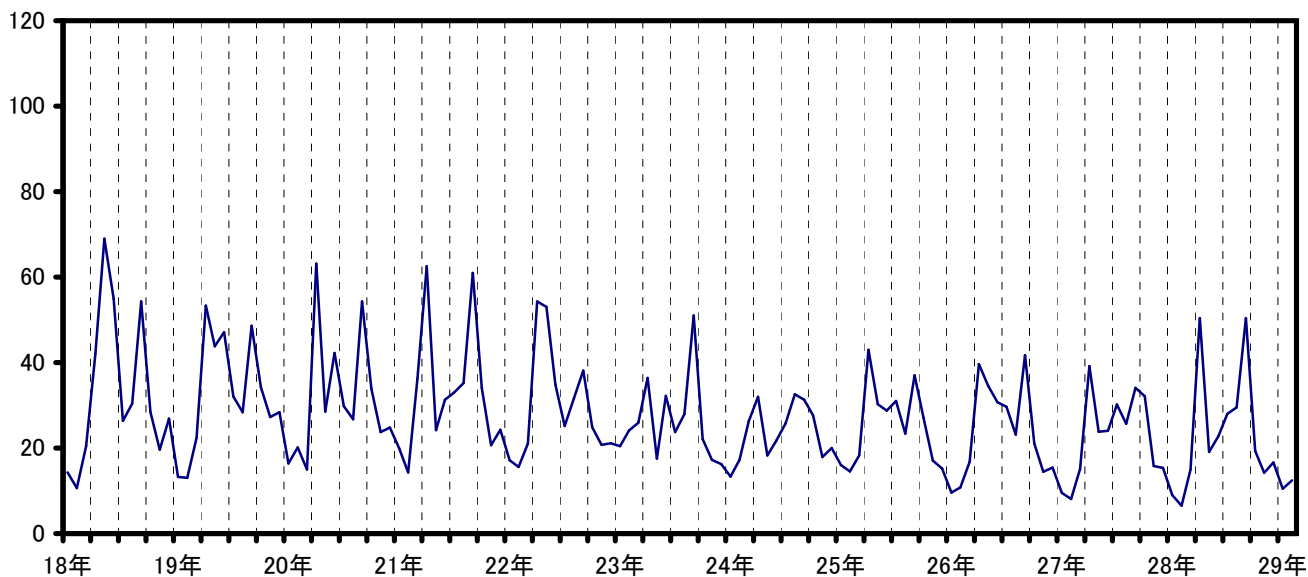
	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
国	▲47.0	121.1	162.8	▲55.6	▲35.0	54.0	110.8	34.6
独立行政法人等	210.7	▲98.3	578.0	▲37.1	291.0	649.2	72.5	17.1
県	▲30.4	44.7	20.0	1.9	5.5	▲24.0	19.1	519.7
市町	10.8	0.0	41.9	▲42.0	▲20.6	12.7	▲23.0	7.3
地方公社	—	▲41.9	▲43.5	292.5	▲62.4	8.7	—	—
その他	▲16.6	11.3	▲63.5	▲93.3	▲10.3	▲0.3	197.5	▲21.3

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成28年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、いずれも製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加の計画となっている。

平成29年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業(前年度比 12.6%増)で増加、非製造業(同 4.0%減)で減少し、全産業(同 5.3%増)では増加の計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業(前年度比 7.2%増)で増加、非製造業(同 0.4%減)で減少し、全産業(同 5.3%増)では増加の計画となっている。

2月の着工建築物床面積（非居住用）は82,466㎡で、前年同月比 0.6%減となり、4か月ぶりに前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比%（ ）内は前回調査比修正率）

設備投資（含む土地投資）

		28年度 (計画)	29年度 (計画)
全産業	県	(▲2.9) 2.2	5.3
	全国	(▲1.4) 0.4	▲1.3
製造業	県	(▲3.0) 5.9	12.6
	全国	(▲3.3) 2.1	4.4
非製造業	県	(▲2.8) ▲2.2	▲4.0
	全国	(▲0.4) ▲0.5	▲4.4

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		28年度 (計画)	29年度 (計画)
全産業	県	1.6	5.3
	全国	(▲1.5) 1.1	1.5
製造業	県	2.8	7.2
	全国	(▲1.5) 1.5	3.7
非製造業	県	▲1.6	▲0.4
	全国	(▲1.5) 0.7	▲0.7

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成29年3月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成29年3月調査)」

<最近の動き>

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	108,356	186,104	171,169	77,988	142,379	107,916	154,653	82,466
前年同月比（%）	10.6	105.9	35.1	▲45.6	29.2	24.3	7.6	▲0.6
(参考) 全国前年同月比（%）	▲19.1	16.7	10.8	▲3.7	10.4	5.4	21.9	8.1

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

	28年12月	29年3月	29年6月 (予測)
全産業	8	12	0
製造業	7	13	2
非製造業	10	12	▲2
(参考) 全国・全産業	7	10	4

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成29年3月調査)」

5 輸出

2月 = 182,936百万円

*前年同月比： 8.3%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

2月の清水税関支署管内の輸出総額は182,936百万円で、前年同月比 8.3%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 9.3%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、エアコン（同 6.8%増）、二輪自動車類（同 6.2%増）がいずれも2か月連続、自動車（同 196.7%増）が4か月連続、自動車の部分品（同 10.0%増）が6か月連続、科学光学機器（同 16.1%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

地域別にみると、米国向け（前年同月比 14.6%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 15.1%増）が4か月連続、EU向け（同 49.9%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
輸出総額(百万円)	160,725	145,025	164,290	157,565	163,368	188,982	149,185	182,936
前年同月比(%)	▲ 11.7	▲ 8.9	▲ 3.0	▲ 8.6	5.9	5.3	3.9	8.3

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
原動機	▲ 1.2	2.7	▲ 5.5	▲ 11.6	11.8	6.1	▲ 8.5	▲ 9.3
エアコン	20.5	28.9	▲ 11.9	▲ 11.1	▲ 3.4	▲ 12.1	4.3	6.8
自動車	▲ 38.7	▲ 41.0	87.9	▲ 17.1	26.8	65.0	66.5	196.7
自動車の部分品	▲ 8.7	▲ 2.8	11.2	1.3	15.4	10.2	12.0	10.0
二輪自動車類	▲ 9.2	▲ 27.0	▲ 29.3	▲ 3.3	16.5	▲ 0.8	3.0	6.2
科学光学機器	▲ 24.6	▲ 12.2	▲ 10.4	▲ 14.6	▲ 5.6	6.7	▲ 6.6	16.1

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
アジア	▲ 13.7	1.0	4.7	▲ 5.6	11.2	10.2	7.8	15.1
米国	▲ 5.4	▲ 14.7	▲ 7.0	▲ 6.4	▲ 7.3	13.3	▲ 8.4	▲ 14.6
EU	4.0	1.7	0.3	0.1	32.2	0.0	24.9	49.9

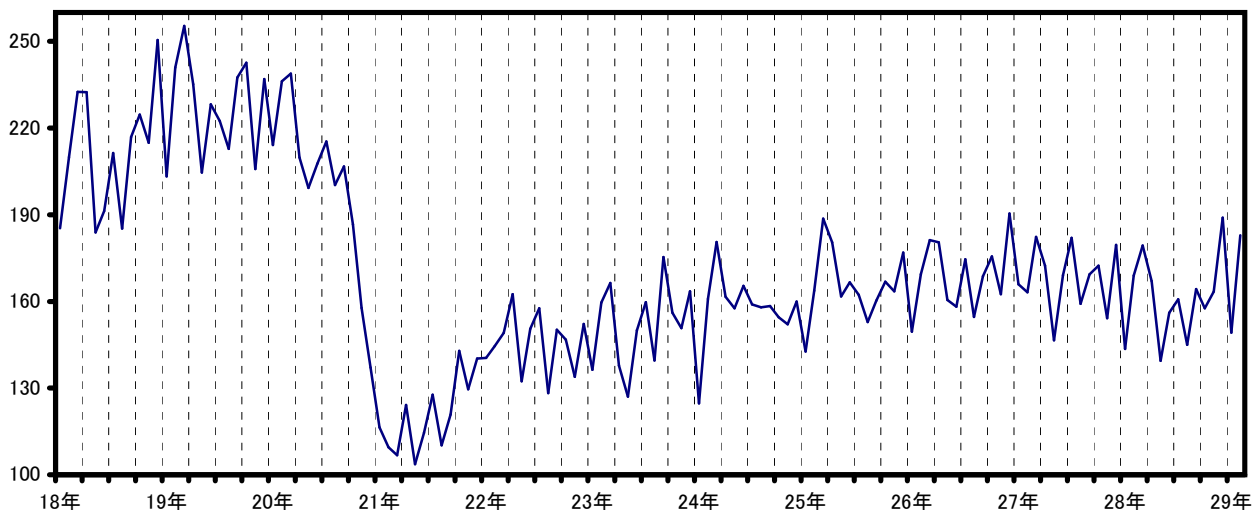
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

2月 = 71,956百万円

*前年同月比： 5.8%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

2月の清水税関支署管内の輸入総額は71,956百万円で、前年同月比 5.8%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、パルプ（前年同月比 5.6%増）が14か月ぶり、原動機（同 180.2%増）が4か月連続で前年実績を上回ったものの、木材（同 11.3%減）が14か月連続、紙類及び同製品（同 32.2%減）が2か月連続、自動車の部分品（同 8.6%減）が3か月連続で前年実績を下回った。また、魚介類（同 3.7%増）は前年実績を上回った。

地域別では、米国から（前年同月比 11.5%増）が2か月ぶり、EUから（同 38.5%増）が3か月ぶりに前年実績を上回ったものの、アジアから（同 14.5%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
輸入総額(百万円)	67,447	75,304	73,501	70,647	81,755	77,184	84,527	71,956
前年同月比(%)	▲ 21.8	▲ 4.5	▲ 9.8	▲ 16.9	0.2	▲ 1.5	▲ 2.5	▲ 5.8

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
魚介類	—	—	—	—	—	—	▲ 4.9	3.7
木材	▲ 19.8	▲ 8.3	▲ 7.5	▲ 13.1	▲ 30.0	▲ 16.0	▲ 9.5	▲ 11.3
パルプ	▲ 45.8	▲ 23.9	▲ 13.3	▲ 27.8	▲ 46.8	▲ 6.7	▲ 11.1	5.6
紙類及び同製品	▲ 3.9	1.1	30.2	▲ 6.7	2.6	23.2	▲ 3.0	▲ 32.2
原動機	45.7	169.5	13.1	▲ 6.4	15.8	76.1	58.1	180.2
自動車の部分品	▲ 42.5	▲ 0.3	▲ 1.7	▲ 28.5	13.5	▲ 7.9	▲ 29.1	▲ 8.6

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

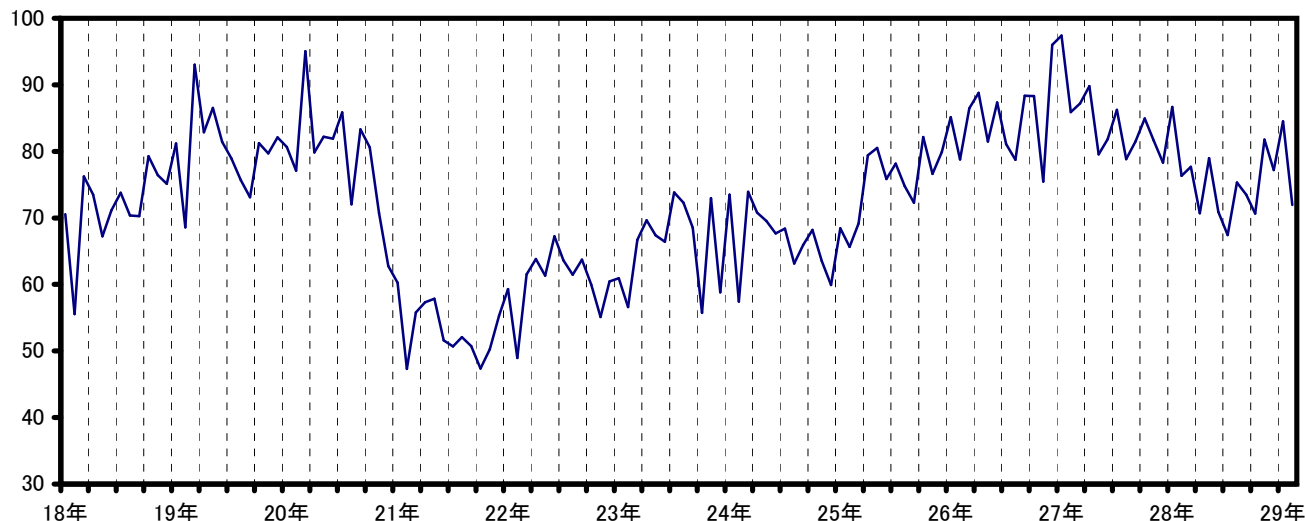
	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
アジア	▲ 16.8	0.2	▲ 8.7	▲ 19.6	▲ 5.9	4.4	▲ 0.3	▲ 14.5
米国	▲ 25.9	▲ 9.4	▲ 22.6	▲ 16.6	▲ 28.2	17.5	▲ 17.1	11.5
EU	▲ 7.8	▲ 4.4	▲ 31.7	▲ 1.7	6.1	▲ 10.4	▲ 12.6	38.5

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

1月 = 92.6

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.1%増

*前年同月比(原指数) : 3.4%増

<概況>

1月の鉱工業生産指数(総合)は92.6(季節調整済指数)で、前月比0.1%増となり、3か月連続で上昇した。また、前年同月比(原指数)は3.4%増と5か月ぶりに前年を上回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比2.4%減)が2か月ぶり、化学(同5.3%減)が4か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同1.8%減)、食料品・たばこ(同6.2%減)がいずれも5か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同9.7%増)が3か月連続、輸送機械(同12.7%増)が2か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	28年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月
指数	88.8	88.3	90.0	89.7	86.9	89.3	92.5	92.6
前月比(%)	2.3	▲0.6	1.9	▲0.3	▲3.1	2.8	3.6	0.1
前年同月比(%)	▲4.1	▲5.4	4.5	▲1.2	▲5.8	▲0.9	▲4.4	3.4
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.9	▲3.8	4.6	0.9	▲1.3	4.6	3.0	3.2

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月
はん用・生産用・業務用機械工業	3.1	▲4.6	11.5	▲4.1	▲12.5	▲5.9	3.1	▲2.4
電気機械工業	7.1	2.5	15.9	2.2	▲9.6	3.2	7.0	9.7
輸送機械工業	▲15.1	▲11.9	▲4.0	▲7.3	▲9.5	▲0.3	3.7	12.7
化学工業	5.8	▲4.8	8.7	6.4	▲1.8	▲4.6	▲31.2	▲5.3
パルプ・紙・紙加工品工業	▲4.3	▲3.2	6.7	▲3.0	▲1.0	▲3.7	▲3.0	▲1.8
食料品・たばこ工業	▲10.6	▲4.9	1.3	▲1.2	▲5.2	▲3.8	▲10.2	▲6.2

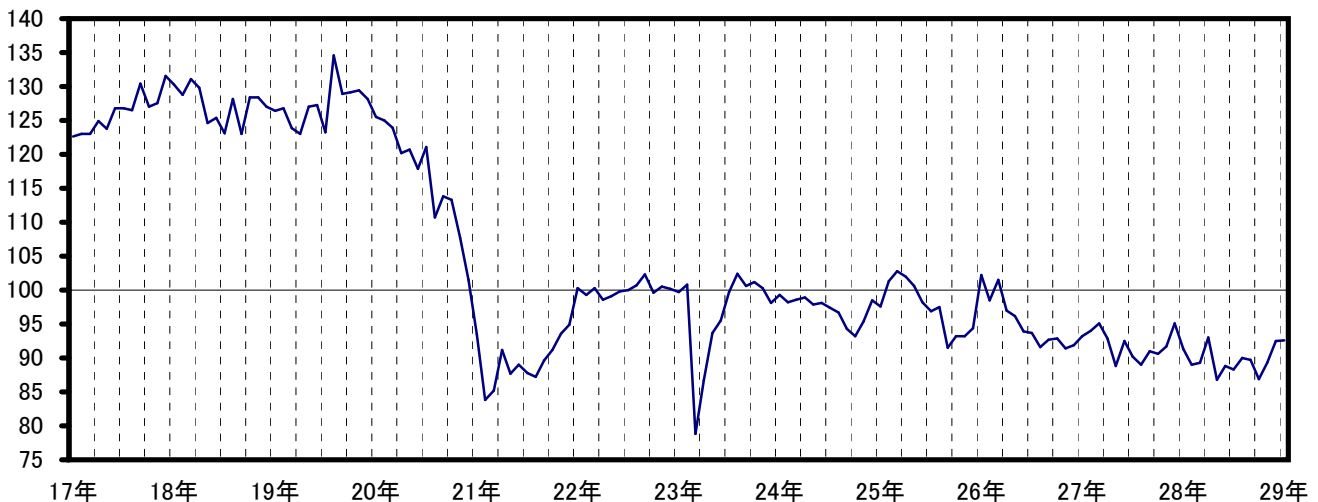
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

1月 = 114.0

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 4.4%増

*前年同月比(原指数) : 6.2%減

<概況>

1月の鋳工業在庫指数(総合)は114.0(季節調整済指数)で、前月比は4.4%増と6か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は6.2%減と5か月連続で前年を下回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「意図せざる在庫減局面(景気拡大初期)」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比15.9%増)が10か月連続、食料品・たばこ(同2.1%増)が4か月ぶりに前年水準を上回ったものの、電気機械(同18.0%減)、化学(同8.9%減)がいずれも5か月連続、輸送機械(同30.8%減)が10か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同2.7%減)が2か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	28年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月
指数	116.4	119.5	119.3	115.7	114.7	112.8	109.2	114.0
前月比(%)	▲1.5	2.7	▲0.2	▲3.0	▲0.9	▲1.7	▲3.2	4.4
前年同月比(%)	0.0	4.1	2.1	▲2.0	▲4.8	▲7.3	▲11.3	▲6.2
(参考)全国前年同月比(%)	0.0	▲1.8	▲1.8	▲2.0	▲3.0	▲4.8	▲5.0	▲4.3

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月
はん用・生産用・業務用機械工業	0.4	6.0	0.8	6.6	7.1	13.0	18.7	15.9
電気機械工業	25.5	26.9	21.3	▲8.5	▲16.5	▲20.8	▲18.2	▲18.0
輸送機械工業	▲24.9	▲11.8	▲19.6	▲34.2	▲42.2	▲46.9	▲51.6	▲30.8
化学工業	1.3	3.5	0.1	▲1.6	▲3.5	▲4.2	▲12.6	▲8.9
パルプ・紙・紙加工品工業	▲4.2	▲3.1	1.5	0.0	7.2	0.5	▲1.4	▲2.7
食料品・たばこ工業	▲12.0	▲2.8	▲9.0	0.4	▲3.5	▲7.2	▲7.3	2.1

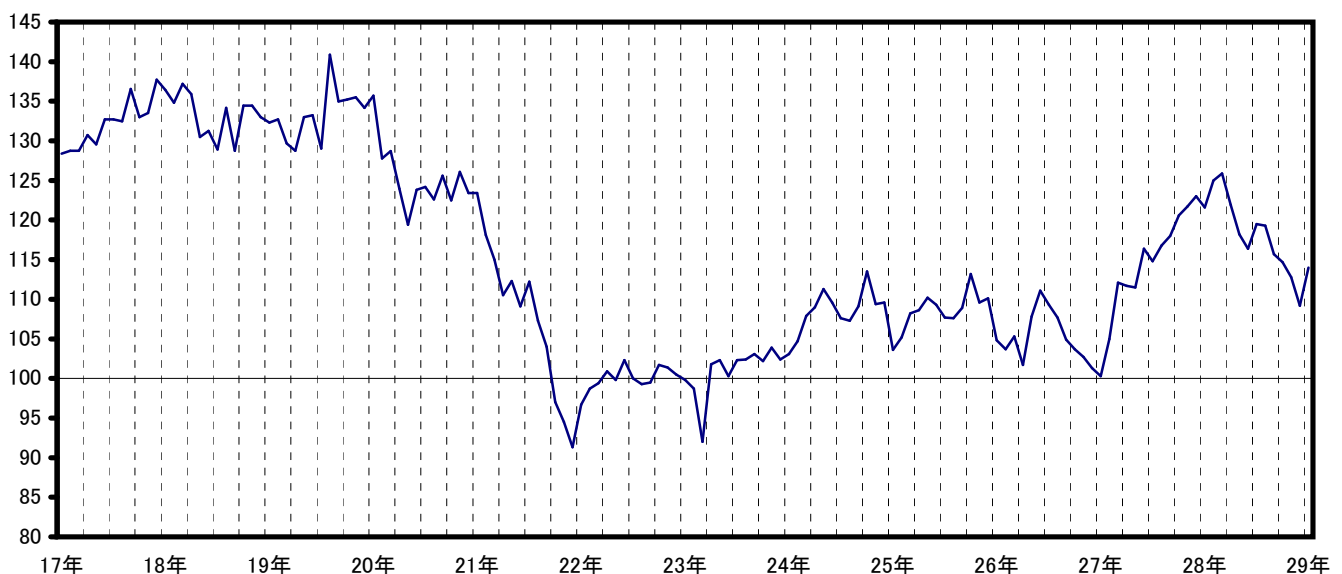
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

2 月 = 1.42倍

*前月比（季節調整値）：0.01ポイント減

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

2月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.42倍となり、前月を0.01ポイント下回った。また、2か月ぶりに全国値を下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比9.2%増）は13か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、情報通信業（前年同月比12.7%減）が2か月連続、卸売業・小売業（同2.7%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、建設業（同15.7%増）が13か月連続、製造業（同12.0%増）が16か月連続、運輸業・郵便業（同16.8%増）が4か月連続、医療・福祉（同5.1%増）が6か月連続、サービス業（他に分類されないもの）（同32.9%増）が12か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
県	1.36	1.35	1.37	1.38	1.40	1.41	1.43	1.42
全 国	1.37	1.37	1.38	1.40	1.41	1.43	1.43	1.43

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
建 設 業	3.4	6.0	8.7	1.9	14.3	5.6	13.5	15.7
製 造 業	2.8	16.7	27.5	20.9	15.7	16.5	12.0	12.0
情 報 通 信 業	▲ 12.5	▲ 52.6	▲ 28.7	▲ 39.2	▲ 13.2	2.2	▲ 19.8	▲ 12.7
運 輸 業 ・ 郵 便 業	7.6	3.9	2.4	▲ 3.7	18.8	1.0	17.1	16.8
卸 売 業 ・ 小 売 業	11.5	57.1	▲ 10.9	19.0	2.6	▲ 5.0	4.9	▲ 2.7
医 療 ・ 福 祉	7.2	▲ 3.9	1.6	13.5	10.2	7.2	9.4	5.1
サービス業（他に分類されないもの）	3.0	29.9	2.2	12.9	62.7	21.6	15.9	32.9
合 計	3.7	11.0	4.2	7.9	16.4	9.0	10.3	9.2

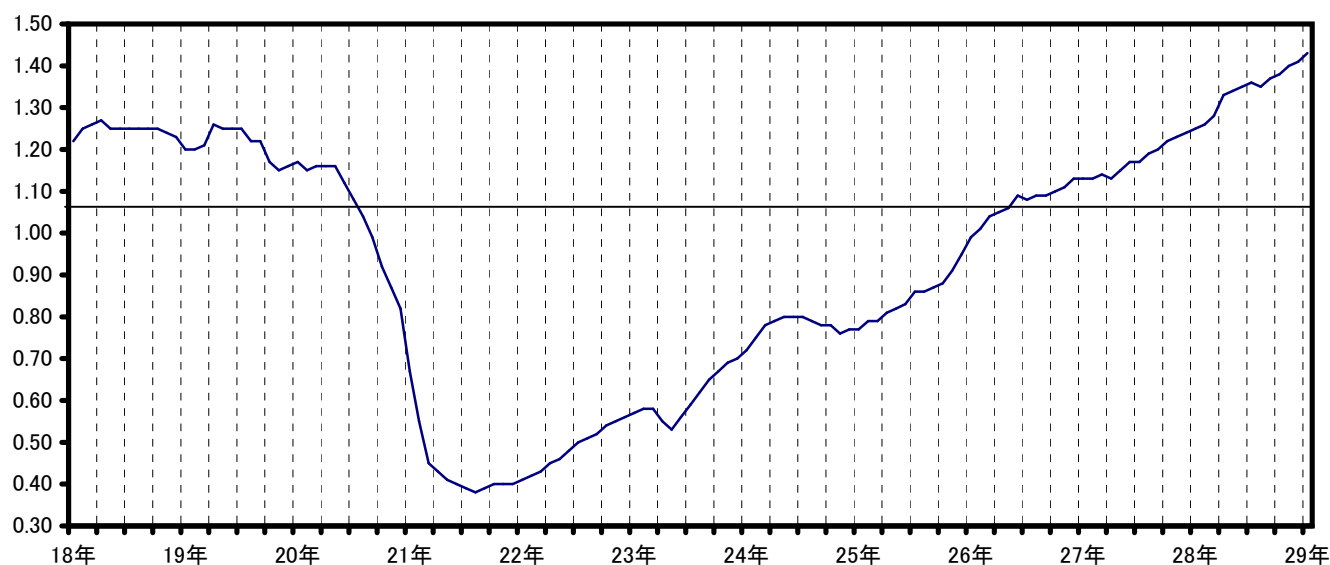
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

2月 = 10,163人

*前月比: 5.2%減

*前年同月比: 15.6%減

<概況>

2月の雇用保険受給者実人員は10,163人で、前月比は5.2%減と6か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は15.6%減と43か月連続で前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は2.8%で、前月から0.2ポイント改善した。

静岡県(平成28年10~12月)の完全失業率は2.5%で、前期(28年7~9月)から0.1ポイント悪化した。

<最近の動き>

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
実人員(人)	12,580	13,302	12,696	12,170	11,593	10,924	10,725	10,163
前月比(%)	0.5	5.7	▲4.6	▲4.1	▲4.7	▲5.8	▲1.8	▲5.2
前年同月比(%)	▲15.9	▲10.2	▲12.7	▲11.5	▲10.8	▲11.3	▲14.4	▲15.6
(参考)全国前年同月比(%)	▲10.5	▲3.7	▲8.0	▲9.3	▲7.9	▲9.3	▲8.6	▲9.5

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
完全失業率(全国)(%)	3.0	3.1	3.0	3.0	3.1	3.1	3.0	2.8

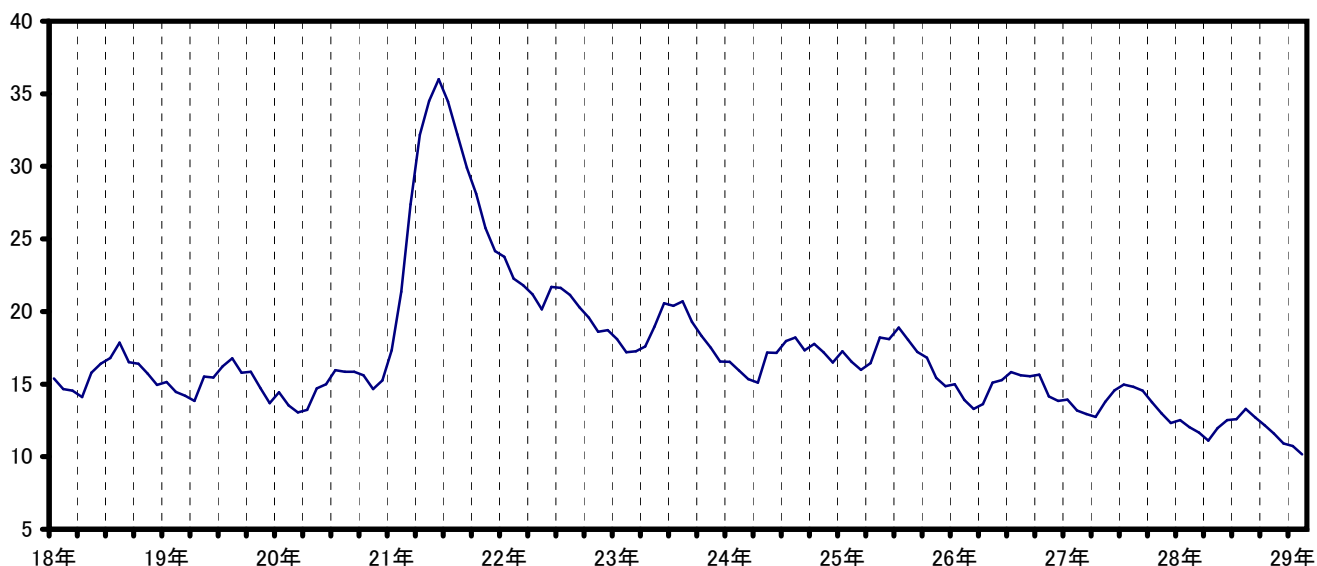
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

1月 = 99.0

*前月比(季節調整済指数): 0.8%減

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 1.4%減

<概況>

1月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は99.0(季節調整済指数)で、前月比0.8%減となった。また、前年同月比(原指数)は1.4%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、運輸業・郵便業(前年同月比5.1%増)が4か月ぶり、医療・福祉(同3.4%増)が2か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同19.4%減)が3か月連続、製造業(同0.2%減)が2か月ぶり、情報通信業(同1.1%減)が5か月連続、卸売業・小売業(同13.5%減)が7か月連続、その他のサービス業(同27.9%減)が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	28年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月
指数	104.6	103.1	97.7	101.6	102.7	101.3	99.8	99.0
前月比(%)	0.1	▲1.4	▲5.2	4.0	1.1	▲1.4	▲1.5	▲0.8
前年同月比(%)	7.2	5.9	▲0.8	1.4	0.7	▲1.4	▲0.7	▲1.4
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.8	▲1.6	▲2.5	▲1.6	▲1.5	▲1.5	▲2.2	▲0.2

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月
建設業	▲0.6	13.7	▲9.7	0.0	15.4	▲5.1	▲14.7	▲19.4
製造業	▲2.2	2.2	▲1.1	0.0	▲4.5	▲5.9	2.6	▲0.2
情報通信業	1.1	▲9.1	1.3	▲13.6	▲10.9	▲8.4	▲6.1	▲1.1
運輸業・郵便業	▲4.3	2.9	▲2.1	3.2	▲5.3	▲6.9	▲6.5	5.1
卸売業・小売業	0.0	▲26.8	▲17.6	▲29.6	▲31.1	▲34.2	▲24.7	▲13.5
医療・福祉	20.3	4.3	▲4.4	9.1	▲7.2	▲23.5	7.0	3.4
その他のサービス業	8.6	3.2	13.2	▲7.2	5.3	11.8	▲6.3	▲27.9
調査産業計	7.2	5.9	▲0.8	1.4	0.7	▲1.4	▲0.7	▲1.4

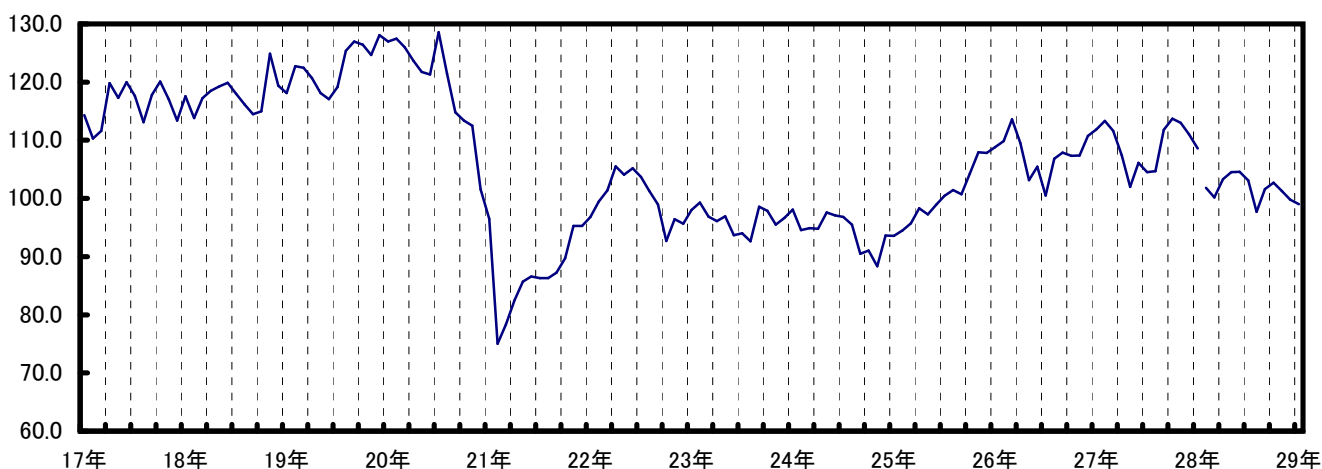
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

3 月 = 98.2

*前 月 比: 0.2%上昇

(平成27年=100)

*前年同月比: 1.4%上昇

<概 況>

3月の国内企業物価指数は98.2となり、前月比は0.2%の上昇となった。また、前年同月比は1.4%の上昇となった。

<最近の動き>

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
国内企業物価指数	96.0	96.1	96.0	96.4	97.1	97.7	98.0	98.2
前 月 比 (%)	▲ 0.3	0.1	▲ 0.1	0.4	0.7	0.6	0.3	0.2
前年同月比 (%)	▲ 3.8	▲ 3.3	▲ 2.7	▲ 2.3	▲ 1.2	0.5	1.1	1.4

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

2 月 = 137,857億円

*前 月 比: 同水準

(銀行、信用金庫)

*前年同月比: 1.6%増

<概 況>

2月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は137,857億円で、前月比は同水準となった。また、前年同月比は1.6%の増加となった。

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
貸出残高(億円)	136,020	135,981	137,793	136,468	137,258	139,099	137,805	137,857
前 月 比 (%)	0.0	0.0	1.3	▲ 1.0	0.6	1.3	▲ 0.9	0.0
前年同月比 (%)	2.7	2.7	2.2	2.1	2.4	1.3	1.3	1.6

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

2 月 = 2.138%

*前 月 差: 0.004ポイント増

(県内地銀4行総平均)

*前年同月差: 0.026ポイント減

<概 況>

2月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.138%で、前月から0.004ポイントのプラスとなった。なお、前年同月差は0.026ポイントのマイナスとなった。

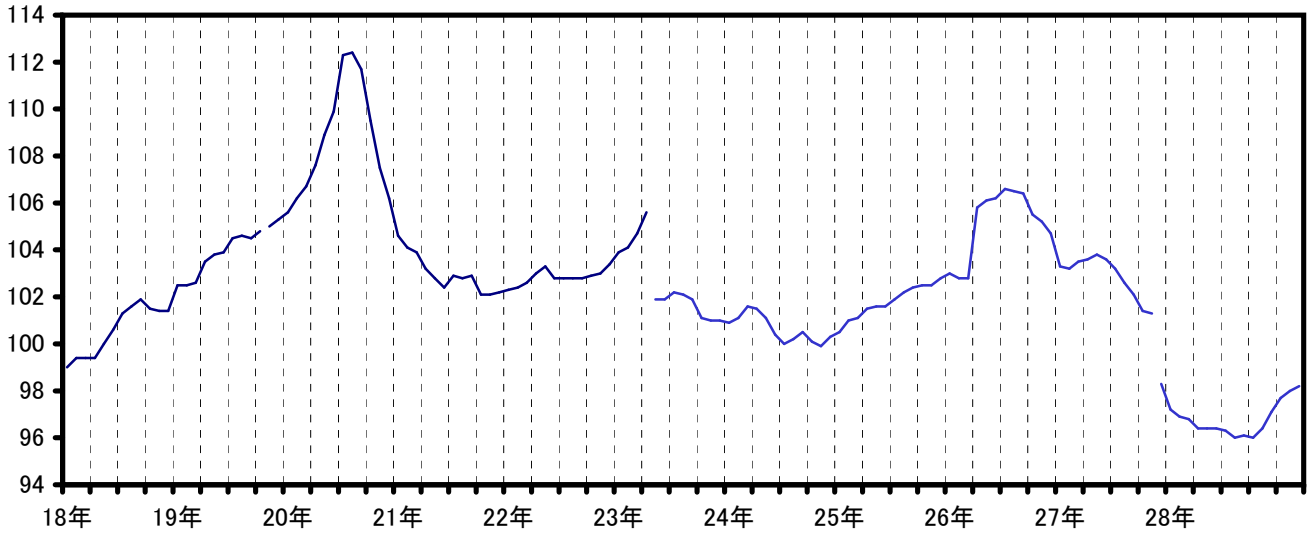
	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
貸出約定金利(%)	2.155	2.154	2.144	2.152	2.146	2.129	2.134	2.138
前月差(ポイント)	0.002	▲ 0.001	▲ 0.010	0.008	▲ 0.006	▲ 0.017	0.005	0.004
前年同月差(ポイント)	▲ 0.004	▲ 0.008	▲ 0.004	▲ 0.014	▲ 0.022	▲ 0.021	▲ 0.025	▲ 0.026

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

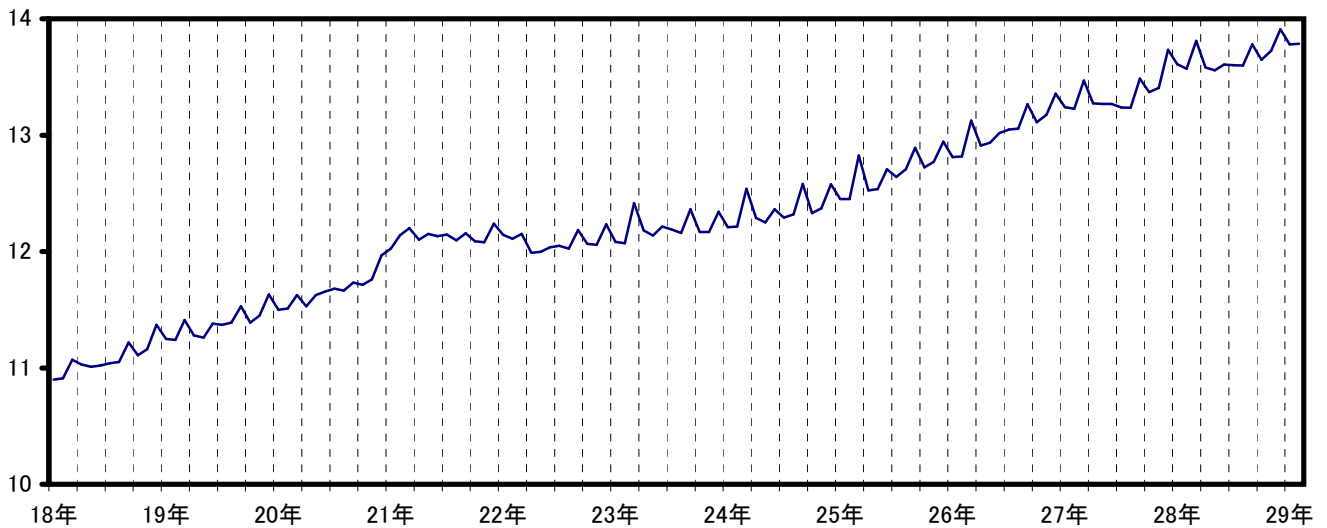
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



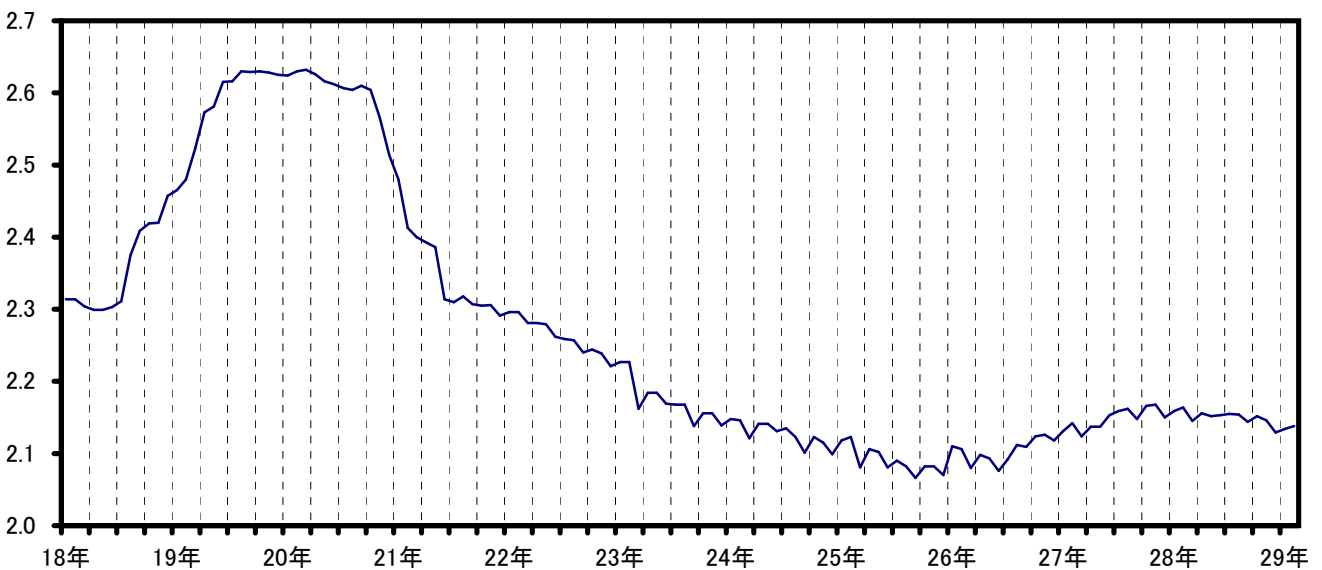
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**2月 = 18,177百万円**

*前年同月比： 2.4%減

<概況>

2月の保証承諾は、金額が18,177百万円（前年同月比 2.4%減）と3か月連続で前年実績を下回り、件数は1,818件（同 10.4%減）と23か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
保証金額（百万円）	20,714	22,578	23,295	17,045	19,296	24,335	14,049	18,177
前年同月比（%）	▲ 5.9	10.9	▲ 10.1	▲ 14.2	0.0	▲ 9.4	▲ 8.3	▲ 2.4
保証件数（件）	2,009	2,172	2,319	1,781	1,888	2,363	1,504	1,818
前年同月比（%）	▲ 15.1	▲ 2.7	▲ 12.0	▲ 16.9	▲ 6.3	▲ 10.7	▲ 11.2	▲ 10.4

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**3月 = 113.01円/ドル**

*前月差： 0.05円高

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差： 0.06円高

<概況>

3月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は113.01円で、前月と比べて0.05円の円高となり、3か月連続の円高となった。

<最近の動き>

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
平均相場（円）	101.27	102.04	103.82	108.18	115.95	114.73	113.06	113.01
前月差（円）	▲ 2.63	0.77	1.78	4.36	7.77	▲ 1.22	▲ 1.67	▲ 0.05
前年同月差（円）	▲ 21.96	▲ 18.18	▲ 16.24	▲ 14.36	▲ 5.89	▲ 3.52	▲ 1.96	▲ 0.06

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****3月 = 31件**

*前年同月比： 24.0%増

<概況>

3月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は31件（前年同月比 24.0%増）、負債総額は7,258百万円（同 150.3%増）と、いずれも前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が30件と全体の96.8%を占め、232か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

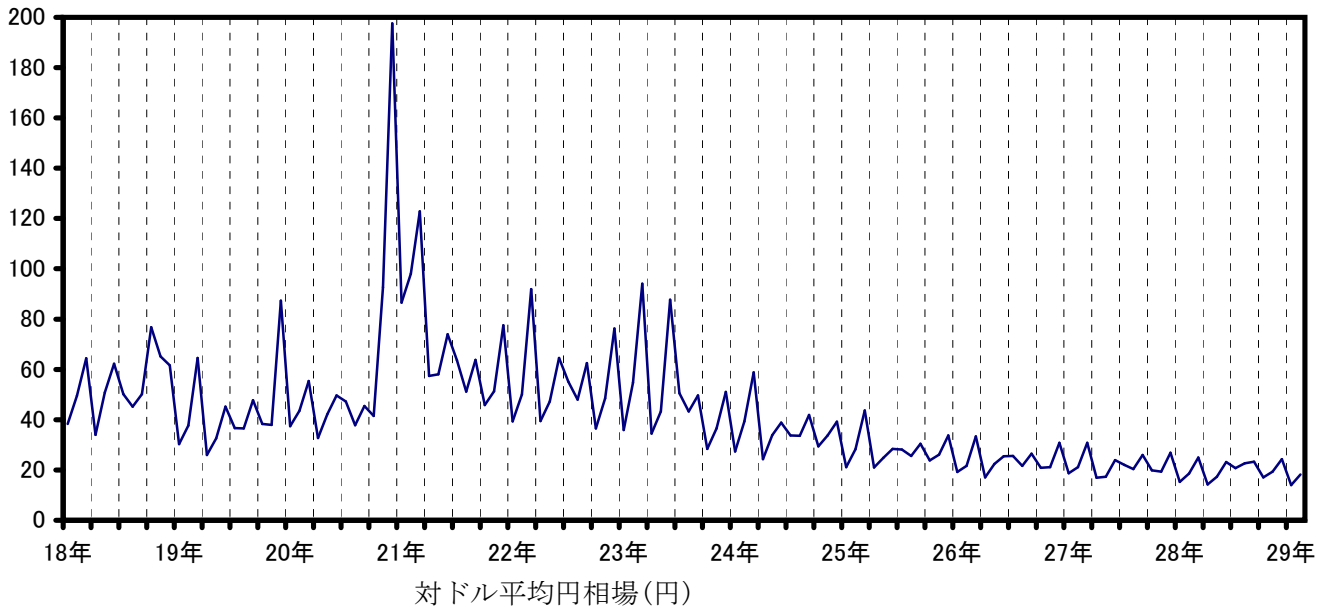
	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
倒産件数（件）	19	22	13	19	35	16	18	31
前年同月比（%）	5.5	▲ 18.5	▲ 27.7	▲ 20.8	84.2	▲ 15.7	▲ 33.3	24.0
うち不況型倒産件数(件)	18	19	12	19	34	16	17	30
負債総額（百万円）	2,065	2,315	1,631	2,049	5,704	1,687	7,787	7,258
前年同月比（%）	8.7	▲ 30.7	▲ 54.5	▲ 61.8	60.7	▲ 46.1	164.0	150.3

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

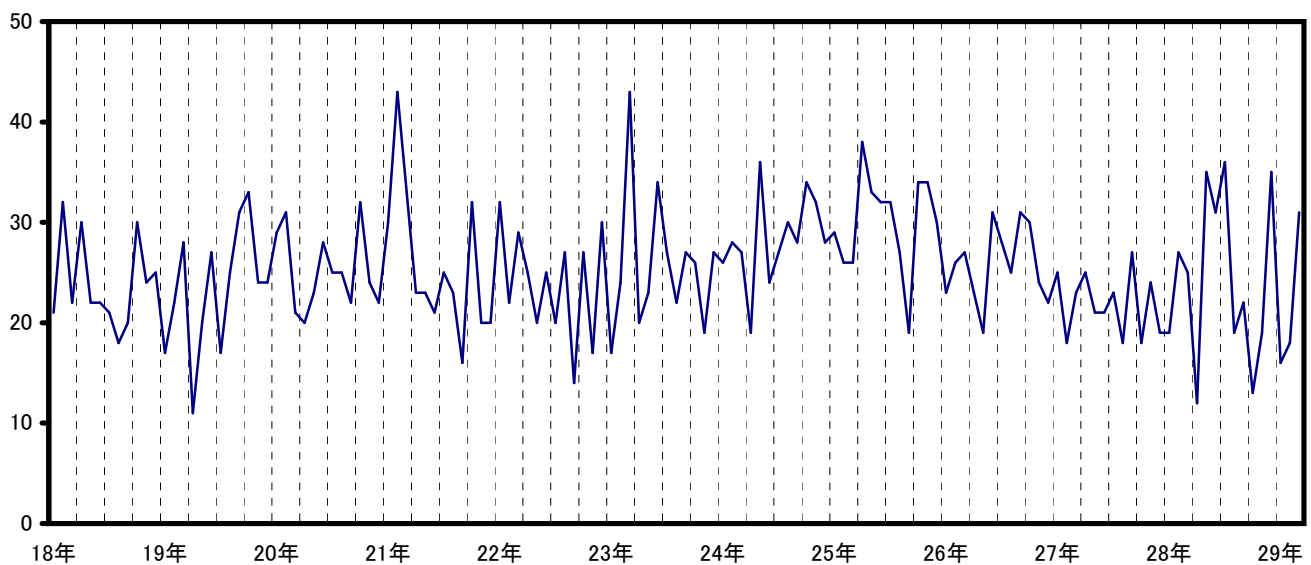
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成29年2月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>2月の国内二輪車生産台数は、61,221台（前年同月比 5.3%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、12,583台（同 21.9%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、1,562台（同 21.2%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、5,394台（同 7.0%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、41,682台（同 4.1%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、28,754台（同 0.4%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。輸出向けは、50,535台（同 1.1%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車 自動車部品	<p>2月の自動車国内生産台数は852,526台（前年同月比 11.2%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。また、輸出は375,656台（同 1.7%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が4か月連続、トラックが6か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>2月の冷蔵庫の国内出荷額は297億9,700万円（前年同月比 1.0%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回り、国内出荷台数は293千台（同 1.2%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>2月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは547千台（同 8.6%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。業務用は65千台（同 0.9%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>1月の携帯電話と公衆用PHSを合わせた移動電話の国内出荷台数は、1,624千台（同 0.3%減）と、9か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、1,057千台（同 5.8%増）と、2か月ぶりに前年を上回った。単月のスマートフォン比率は65.1%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、JEITA/CIAJ</p>
生産用機械	<p>2月の工作機械の受注総額は、1,112億1,800万円（前年同月比 9.1%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は706億7,900万円（同 12.1%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが334億7,200万円（同 31.1%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。内需は405億3,900万円（同 4.2%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業からは、「米国大統領の発言が国際情勢に影響を与え、自動車関係及び関連企業は忙しい。中国経済の先行きにも不安感がみられ、国内への影響が懸念される。」という声や「売上高、設備稼働は前年並を維持し、見積依頼や問合せ件数も堅調に推移しているものの、受注成約に結び付くかはアメリカの経済政策によるところが大きい。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>2月の県内楽器メーカーの販売金額は、47億2,700万円（前年同月比 10.8%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は輸出向けが23億9,200万円（同 8.7%減）、国内向けが23億3,500万円（同 12.8%減）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,876台（同 2.8%減）であった。機種別では、アップライトピアノが2,007台（同 3.6%増）、グランドピアノが869台（同 15.0%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,948台（同 5.3%減）、国内向けが1,166台（同 13.9%減）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>2月の紙・板紙の国内出荷高は、2,005千トン（前年同月比 0.5%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は、紙は1,133千トン（同 1.5%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。板紙は873千トン（同 0.7%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、646千トン（同 0.3%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、147千トン（同 0.9%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>2月の県内生産量は、食缶類が国内向け866千箱（前年同月比 3.9%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は594千箱（同 3.6%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は447千箱（同 0.8%増）と、5か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は272千箱（同 25.1%増）と、12か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが5,761千箱（同 12.4%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>2月の広幅織物の県内生産は、1,379千㎡（前年同月比 4.7%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,340千㎡（同 4.3%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、39千㎡（同 18.1%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、35千㎡（同 3.9%減）と、14か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>2月の全国百貨店での家具販売額は、49億5,191万円（前年同月比 10.4%減）と、12か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、432億2,506万円（同 2.2%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>全国百貨店での販売額は、昨年度と比較すると前年比で厳しいものとなったが、県内業界は、首都圏で開催される各種見本市に出展するなど、販路拡大に取り組んだ。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>2月の県内百貨店の売上高は、暦の影響による営業日数及び休日の減少に伴い、前年同月比 3.8%減と、前年を下回る結果となった。</p> <p>商品別では、化粧品が同 18.0%増、菓子が同 3.0%増と、それぞれ前年を上回ったものの、全体をカバーするには至らなかった。</p> <p>中部地域の食品スーパーへの聞き取りでは、青果の相場高が続いており、消費者が冷凍食品や惣菜を選ぶ傾向にあった。</p> <p>中部地域の専門店への聞き取りでは、バレンタインデーに関連した商材は、高級志向により百貨店で購入されることが多く、不調だった。</p> <p>2月には、プレミアムフライデーに合わせた取組として、静岡市の中心市街地で空き店舗を利用した催しや、そば屋をめぐるイベント等が開催された。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>平成29年2月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約27万人で、前年同月比 2.7%増となった。今年は、温暖な気候の影響で河津桜が例年より早く開花し、伊豆地域の観光施設への入込客が増加したものと考えられる。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約69万台と、前年同月比 0.9%増であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	28年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
完成車生産台数(台)	16,487	16,815	13,421	13,818	20,095	24,249	19,835	19,174	22,068
前年同月比(%)	9.7	▲10.4	▲11.1	▲26.4	2.5	40.6	6.7	▲5.7	▲3.9
KD輸出額(百万円)	760	677	762	672	577	719	716	712	705
前年同月比(%)	▲7.6	▲25.9	7.7	▲15.4	▲10.2	▲0.8	▲22.4	▲3.8	▲1.9

<楽器>

	28年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
生産総額(百万円)	4,157	3,817	3,309	3,851	3,696	3,635	3,294	3,082	3,371
前年同月比(%)	▲2.5	▲10.3	1.7	4.2	▲10.7	▲0.5	▲10.2	▲8.0	▲6.5

<缶詰>

	28年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
食缶生産高(千ケース)	1,112	1,031	983	1,069	1,026	970	815	825	866
前年同月比(%)	5.9	2.5	14.9	18.0	5.1	0.4	▲7.2	0.2	3.9
うち水産缶詰(%)	0.4	▲0.7	10.7	9.7	0.4	▲3.5	▲12.4	▲3.0	▲3.6
農畜産缶詰(%)	23.1	12.1	30.6	51.7	20.8	13.3	8.0	5.3	25.1
飲料缶生産高(千ケース)	7,714	8,479	7,428	7,146	6,562	6,641	5,985	4,933	5,761
前年同月比(%)	▲12.0	▲1.8	3.6	0.2	3.9	▲1.9	▲7.4	14.2	12.4

<繊維>

	28年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
広幅織物(千㎡)	1,196	1,133	1,135	1,458	1,522	1,693	1,694	1,563	1,379
前年同月比(%)	▲2.3	▲1.4	3.4	8.2	0.5	▲5.8	▲3.1	▲3.1	▲4.7
小幅織物(千㎡)	30	28	26	30	31	32	33	33	35
前年同月比(%)	▲20.1	▲22.3	▲20.8	▲24.7	▲21.4	▲21.3	▲14.4	▲0.2	▲3.9

<観光>

	28年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
観光施設(10施設)入込 (千人)	330	363	552	369	431	349	280	287	268
前年同月比(%)	▲3.9	19.4	1.2	▲22.8	▲6.2	▲11.4	7.4	1.8	2.7
有料道路(5路線)通行量 (千台)	649	755	862	677	711	701	741	678	688
前年同月比(%)	4.1	6.5	1.8	▲2.2	2.7	2.1	5.6	4.7	0.9

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・百貨店販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・専門量販店等販売額		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・自動車新規登録台数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・新設住宅着工戸数			
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成29年4月号 通巻492号

発行 静岡県経済産業部
平成29年4月

編集 経済産業部管理局政策監
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>